

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公開番号】特開2010-194135(P2010-194135A)

【公開日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2009-43283(P2009-43283)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

制御基板と、当該制御基板を収容する基板ボックスとを備えた遊技機であって、前記基板ボックスは、

第1構成部材及び第2構成部材からなるとともに、

前記第1構成部材に設けられた第1係合部と、前記第2構成部材に設けられた第2係合部と備え、

前記両係合部が係合して前記第1構成部材と前記第2構成部材とが連結状態となった場合に、その内部に前記制御基板及び前記両係合部が配置された状態となる構成であって、

前記制御基板が配置される基板収容空間と、前記両係合部が配置される係合部収容空間とを仕切る隔壁部を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記第1構成部材と前記第2構成部材とを相対変位させることにより、前記第1係合部と前記第2係合部とが係合することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記第1係合部及び前記第2係合部のうち一方に、前記第1構成部材と前記第2構成部材とを所定の封印方向へ相対変位させることで、所定の非係合方向へ弾性変形して他方と係合可能となる係合片を備え、

前記係合片は、

前記封印方向とは反対となる開封方向へ前記第1構成部材と前記第2構成部材とを相対変位させた際、前記第1係合部及び前記第2係合部のうち一方からの応力により、前記非係合方向とは反対となる係合方向へ弾性変形することを特徴とする請求項2に記載の遊技機。